



予選レポート

2019/10/26 Rd-7 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：23℃ 出走台数：20台

2019年、ニューマシン「SF19」が導入された全日本スーパーフォーミュラ選手権は、日本各地で僅差接戦を繰り広げ、シリーズチャンピオン決定の舞台として、開幕の地 鈴鹿サーキットに帰ってきた。

2年連続、3度目のチャンピオンを狙う山本選手は、僅差1ポイントリードながら首位で、DOCOMO TEAM DANDELION RACING も、チームランキング首位で、2019シーズン集大成となる鈴鹿に臨む。

ノックアウト第1予選は、全20台を10台ずつ2組に分け予選が行われる。

山本選手はA組でタイムアタック。しっかりとミディアムタイヤをウォームアップしミスなくアタック。2番手となる。

B組 福住選手も、持てる力をしっかりと1周に込めて首位で通過する。

続く第2予選は、全車ソフトタイヤでアタックとなる中、福住選手は2番手に0.2秒以上差をつけて首位に。山本選手は、福住選手に匹敵するタイムを更新しながらアタックするも、3番手で第3予選に駒を進める。

両ドライバーともに、若干のバランス修正を行って臨んだ第3予選。ミスなくアタックを終えた両ドライバーだが、路面の変化に対してセットアップ変更がマッチしなかったか、福住選手4位。山本選手は5位で予選を終えた。

1：山本 選手 予選5位 (第1予選A組2位 第2予選3位、第3予選5位) HONDA 勢5位

厳しい結果になってしまいました。一番前にいてほしくないライバルがポールですし、タイトルに向けて苦しいスタートになってしまいました。

最後まであきらめず、気持ちを切替えて、明日に向けてチームと共に戦略とセットアップを検証し、先頭でゴールすることに集中します。

5：福住 選手 予選4位 (第1予選B組1位 第2予選1位 第3予選4位) HONDA 勢4位

第1予選、第2予選と、非常に好調で、首位で通過でき、チームメイトの山本選手とともに上位で予選を終える自信がありました。第3予選も、自分のドライビングには満足していますが、コンディションの変化に合わせきれず4位となりました。ポールを取るための力が足りていないことを痛感しています。

我々の車は決勝のペースも速いと思うので、明日の決勝ではアグレッシブに攻めて上位フィニッシュを目指します。